別添3

業務総括者の経験・能力

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 生年月日 |  |
| 最終学歴 |  |
| 職歴 |  |
| 分野専門性 |  |
| 対象分野に関する類似業務経験  (案件ごとの担当業務・役割を明確に記載する) |  |
| 語学力 |  |
| 取得資格 |  |
| 著書、研究論文、外部委員会等 |  |

**付属書1：**

**語学能力・資格の認定等について**

1. 英語については、次に掲げるいずれかの機関が実施している能力・資格の認定試験の結果を様式−1「業務総括者の経験・能力」の「語学力」欄に記載し、認定証等の写しを添付すること。

なお、提出期限日時点で取得後10年以上経過した資格は、語学評価の対象外とする。

|  |  |
| --- | --- |
| 英語 | * TOEIC（国際ビジネスコミュニケーション協会） * TOEFL（国際教育交換協議会） * 国連英検（日本国際連合協会） * 実用英語技能検定（英検）（日本英語検定協会） * IELTS（日本英語検定協会） * 通訳案内業（案内士）試験 |

**語学能力の基準**

（ランク）

A － 正確かつ流暢に高度な会話ができる。また、会議でのディスカッション及び技術レポートの作成をはじめ自己の専門分野はもちろんとして、他の分野についても正確な表現と理解が可能である。

B － 通常の会話と自己の専門分野の表現と理解はもちろんとして、技術レポートの作成・解読も可能である。ただし、会議でのヒアリングにはやや難がある。

C － 通常の会話と自己の専門分野の表現と理解は、十分とは言えないが可能である。また、技術レポートの作成・解読は、不十分ながら可能である。

D － 実用の域ではないが、通常の会話や技術レポートの作成・解読は、辞書を用いて辛うじて可能である。